

経済・金融  
フラッシュユーロ圏失業率(2023年8月)  
—低い失業率が継続

経済研究部 主任研究員 高山 武士

TEL:03-3512-1818 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

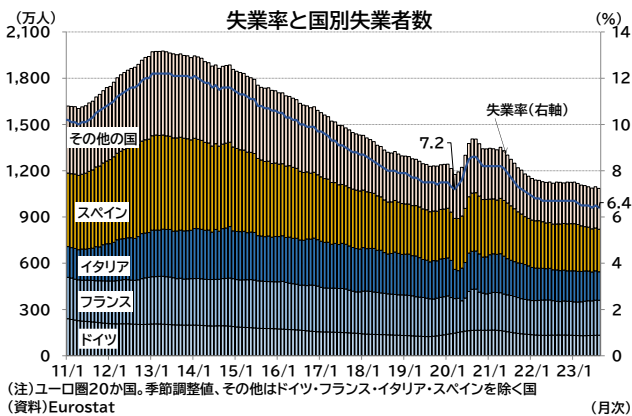
## 1. 結果の概要:失業率は6.4%

10月2日、欧州委員会統計局(Eurostat)はユーロ圏の失業率を公表し、結果は以下の通りとなった。

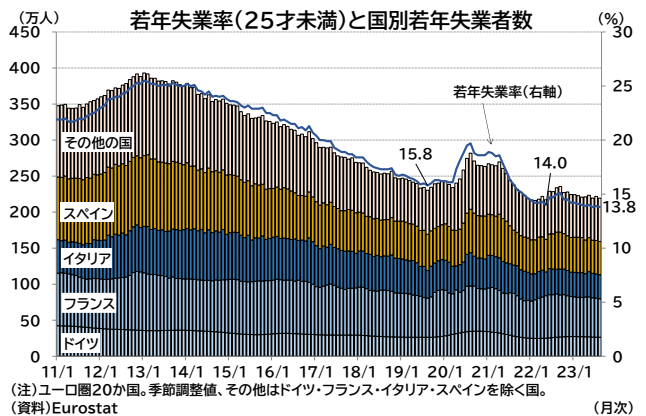
## 【ユーロ圏失業率(20か国、2023年8月、季節調整値)】

- ・失業率は6.4%、市場予想<sup>1</sup>(6.4%)と一致し、前月(6.5%)から低下した(図表1)
- ・失業者は1085.6万人となり、前月(1096.3万人)から10.7万人減少した

(図表1)



(図表2)



## 2. 結果の詳細:堅調な雇用環境を維持

ユーロ圏(20か国)の8月の失業率は6.4%で、7月(6.5%)からやや低下し、統計データ公表以来の最低値となった(なお6月も6.4%で最低値だった)。過去データは7月の数値がやや悪化方向に修正された(7月改定前6.4%→改定後6.5%)。

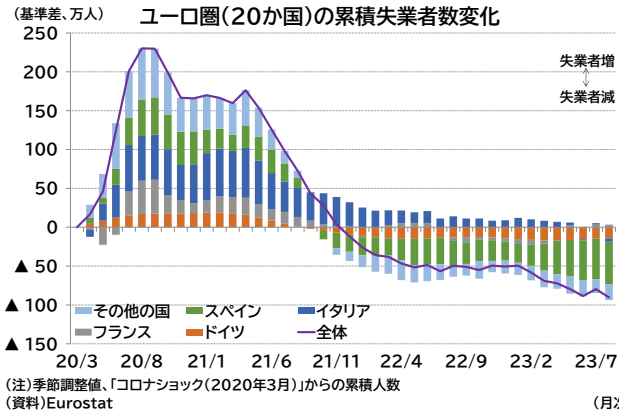
失業者数は8月の前月差で10.7万人減となり、7月の8.9万人増の後、再び減少に転じた(図表3・4)。主要4か国では、イタリア(▲6.2万人)とスペイン(▲2.6万人)では失業者が減少、フランス(±0.0万人)は横ばい、ドイツ(+0.4万人)ではやや増加した。

8月の若年失業率は13.8%で、こちらも7月(13.9%)からやや低下し(図表2)、コロナ禍後の最低値となった(若年失業率も6月に13.8%と最低値となっていた)。過去データは7月の数値がやや悪化方向に修正された(7月改定前13.8%→改定後13.9%)。

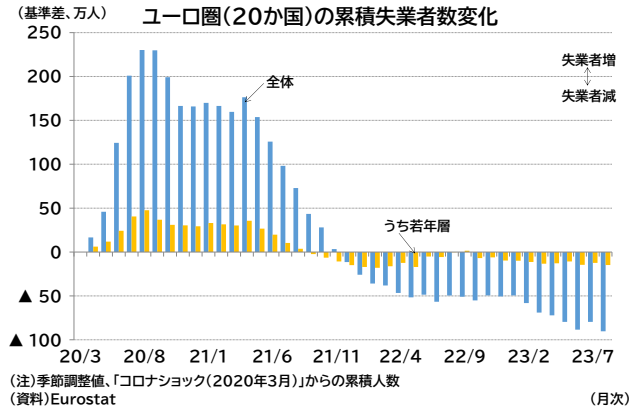
<sup>1</sup> bloomberg 集計の中央値。以下の予想値も同様。

若年失業者数は8月で219.4万人（前月差▲2.4万人）となり、7月（前月差+2.2万人）から減少に転じた。若年失業者数はコロナ禍後の最低値（216.2万人、22年2月）を上回る状況ではあるが、コロナショック直前の水準は下回っている（図表4）。

（図表3）

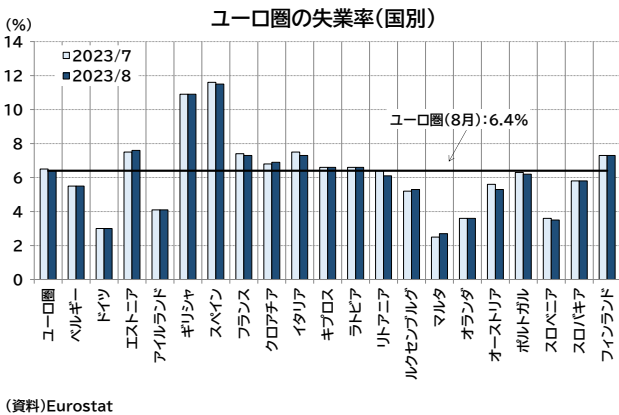


（図表4）

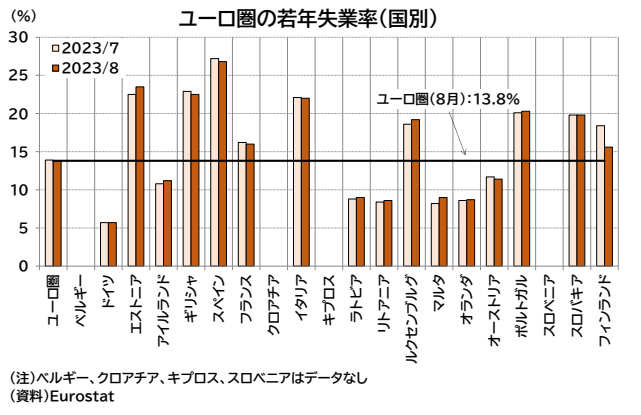


国別の8月のデータを見ると、失業率はデータが公表されている20か国中、悪化した国が4か国、改善が7か国、横ばいが9か国だった（図表5）。また、若年失業率は公表されている16か国中、悪化した国が8か国、改善が6か国、横ばいが1か国だった（図表6）。

（図表5）

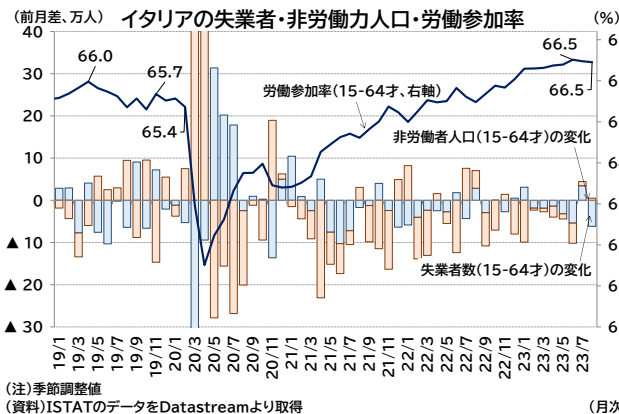


（図表6）

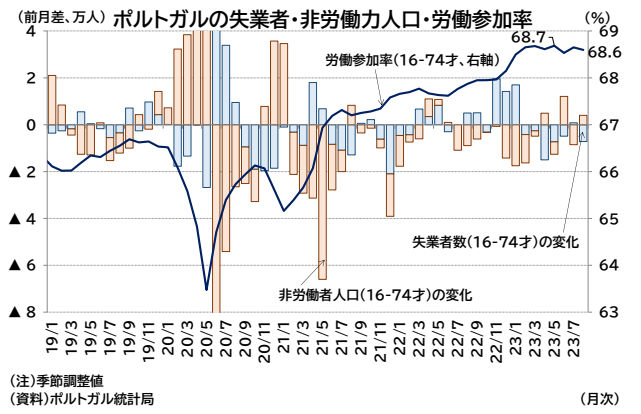


最後に詳細な月次データを公表しているイタリアとポルトガルについて確認すると、イタリアは失業者が減少、非労働力人口が微増、就業者も増加した（図表7）。ポルトガルも失業者が減少し、非労働人口と就業者が増加した（図表8）。いずれの国でも労働参加率は高めの水準にとどまっております、総じて雇用環境は堅調さを維持していると評価できる。

（図表7）



（図表8）



（お願い）本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。